



高知県立坂本龍馬記念館  
令和元年度企画展



# 龍馬をめぐる女たち

Les femmes  
autour  
de RYOMA



～心許した者との語らい～展

令和元年 / 7月23日(火) ～ 9月25日(水)

●展示資料一部入替あります【前期：7月23日～8月31日／後期：9月1日～25日】

[会場] 高知県立坂本龍馬記念館 新館2階 / 企画展示室・常設展示室(部分)

## 講演会「龍馬とお龍 下関に残る愛のかたち」

講師 田中 洋一氏(下関市立歴史博物館学芸員)

日時: 2019年8月3日(土) 13:30～15:00

会場: 新館1Fホール 定員: 100人(無料、要申込・先着順)

※電話・FAX・HPにてお申込みください

## 担当学芸員によるギャラリートーク

日時: ① 2019年8月17日(土) ② 2019年9月7日(土)

両日とも14:00～ 直接企画展示室へお越しください

②のみ 特別ゲスト: 岡上 汎告氏

(乙女のひ孫・岡上菊枝の孫)



高知県立坂本龍馬記念館  
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

〒781-0262 高知市浦戸城山830  
TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015  
HP ▶ <https://ryoma-kinenkan.jp/>  
e-mail ▶ [ryoma@ryoma-kinenkan.jp](mailto:ryoma@ryoma-kinenkan.jp)







# 龍馬をめぐる女たち

Les femmes autour de RYOMA

～心許した者との語らい～展

龍馬は自分のことを「僕は男振りは悪いが矢ツ張り(女が)惚れる」と言ったという。実母幸や継母伊與。祖母と3人の姉たち。家族にも女性が多く、女たちは生き生きとしている。また、土佐での恋人と言われる平井加尾、江戸での千葉佐那、京女の妻お龍といったように龍馬の周りにはいつも女たちがいる。龍馬にとって彼女たちはどんな存在だったのだろうか。

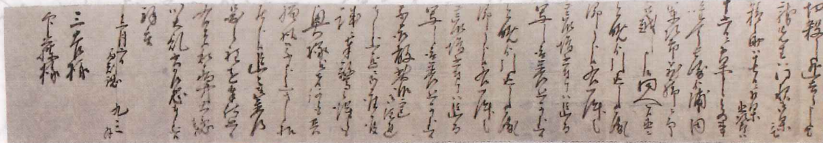
姉乙女の手紙には龍馬の心情が素直に出ているし、妻に宛てた手紙には優しさがこぼれる。彼女たちに宛てた手紙や遺品などを通じて、龍馬の魅力を探る。



●乙女の帯(岡上菊栄刺繍入)  
岡上汎告氏 蔵



●龍馬暗殺を知った後のお龍の様子を伝えた手紙  
(伊藤九三書簡 三吉慎蔵宛/慶応3年12月5日付)  
三吉家寄託、下関市立歴史博物館蔵 ◆後期



●龍馬暗殺を知った伊藤が、お龍にどう対応すべきか尋ねた手紙  
(伊藤九三書簡 三吉慎蔵・印藤幸宛/慶応3年12月2日付) 三吉家寄託、下関市立歴史博物館蔵 ◆前期



●お龍の帯締め(江戸時代後期) 個人蔵



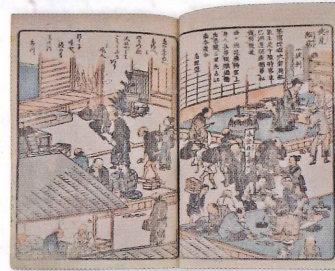
●平井加尾の短刀  
平井家寄託  
県立歴史民俗資料館蔵 ◆前期



●坂本龍馬寄せ書き胴掛け  
平井家寄託・県立歴史民俗資料館蔵 ◆前期



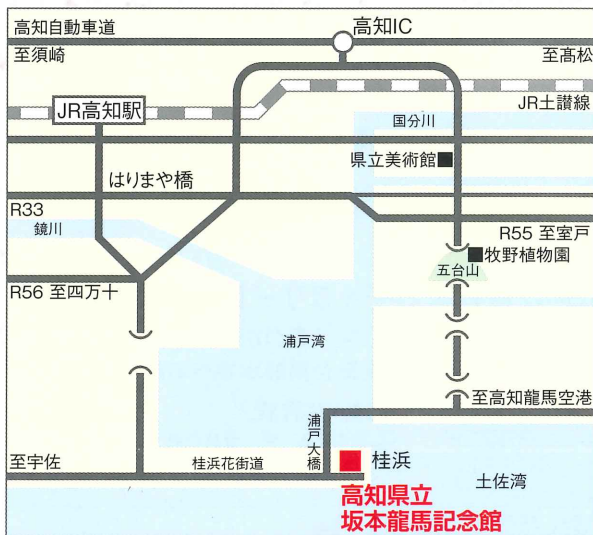
●近江屋の図「三條実美公履歴」より



●伏見船宿の図「淀川兩岸一覽」より

- 坂本龍馬書簡お龍宛 (慶応5年5月28日) ◆前期(後期 複製)
- 寺田屋登勢書簡お龍宛 (慶応4年) ◆前期
- 榎崎きみえ書簡お龍宛 (慶応4年) ◆後期
- 海獣葡萄鏡/以上 京都国立博物館 蔵

これらをはじめお龍、坂本家(千鶴、乙女、春猪)、寺田屋登勢、平井加尾、千葉佐那たちゆかりのもの約40点を紹介する。



- JR高知駅からさでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩約2分
- 高知駅発着で龍馬記念館などを巡るバス「MY遊バス」(一日乗り放題)もお得です。毎日運行
- 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分
- 駐車場…普通車42台(うち障害者用駐車場2台)バス4台

開館時間 午前9:00～午後5:00/年中無休  
観覧料 大人700円・20名以上の団体 560円

高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)は無料

主催/高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)  
後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・共同通信社高知支局・時事通信社高知支局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ・NHK高知放送局・エフエム高知